



friendship force
WESTERN TOKYO

FF 西東京クラブ会報

No. 11 2010, June

スロバキア渡航特集号



FF 西東京 21年目のご挨拶

会長 椰川 善一

昨年は西東京クラブ会員が全員一丸となってお尽力いただいたおかげで、我々が初めて主宰する日本大会を200名近い参加を得て無事開催することが出来、誠に有難うございました。その際西東京の創立20周年を祝って、FFIのブラウン会長から祝賀の証明書を頂きましたので、遅ればせながらここに上記ご披露させて頂きます。そしてこれを記念に今年2010年度から役員を一部変更、高垣孝会員が広報を担当するのに合わせてこの会報を年2回発行し、会員同士の交流と各方面への広報活動をよりきめの細かいものとする事となりました。21年目を迎える西東京クラブの新しい世紀に向け、より一層のご協力をお願い申し上げます。

また私事に亘りますが昨年10月末に脳塞栓を発病し、その後三カ月以上もリハビリ入院して皆様に大変ご心配をかけました。その間副会長の石井健二会員に代行をお願いし、奈良での日本大会を含め2011年の交換事業など、すっかりお世話になりました。現在は旅行こそ控えているものの、近辺を歩くのはなんとか支障も少なくなりましたので、どうぞご放念くださいませ。

・2010年西東京クラブ総会

2010年1月23日(土)に町田のホテルエルシー内の龍皇レストランで、西東京クラブの総会が開かれました。

16名の出席者があり、2009年決算、2010年予算、新役員等の議案が承認されました。

総会で選出された新役員は次の通り(敬称略)。

名誉会長	佐原 泰子
会長	椰川 善一
副会長	石井 健二
理事	石田 充
広報	高垣 孝
事務局	山本 文
会計	村上 トシ子 今村 佐知子
会計監査	加藤 幸子 竹田 敏子

新役員の方々、よろしくお願いします。

その他詳細は、事務局から全会員に配布、もしくは送付しました総会資料をご参照下さい。

・下町ツアー(浅草方面)

村上トシ子

2月20日(土) 参加人数 10名

- ①出光美術館 ・日本の書画 ・陶磁器
・中国の陶磁器・洋画 鑑賞
 - ②築地本願寺見学 ・東京帝国大学工学部教授
(伊東忠太氏設計)1943年完成
 - ③築地市場界限 ・散策 買い物 試食
 - ④長生庵で昼食 ・マグロ漬丼 アナゴ天井 など
 - ⑤浅草見学 ・浅草寺 伝統工芸店
・やげん堀唐辛子店
 - ⑥喫茶甘味処(舟和)で休憩
 - ⑦メトロパス使用し帰路に着く
- 白谷さんのきめ細かな計画で楽しく効率よく廻り、渡航の方は工芸店でお土産を、主婦は夕食の一品を買い求め帰路に着きました。

・奈良クラブ主催日本大会に参加して

副会長 石井健二

今年のFF日本大会(第23回)は、遷都1300年を迎えた奈良の奈良県新公会堂において、2月27日(土)、28日(日)の両日、楽しく熱心に開催されました。参加者は昨年の大会を更に上回る230人強。当クラブからも15人参加しました。



新公会堂パーティ会場で西東京クラブ全員集合

全体会議は同会場内の能楽堂で持ち、会議後は、雅楽をたっぷり聴かせて頂けるなど、他では味わえない貴重な経験もしました。初日の午後は代表者会議として、高齢化問題、次世代リーダーの育成などクラブ内運営の諸問題、代表者会・ブロック会議の位置づけなどクラブ間の諸問題を中心に情報、意見交換しました。

2日目午前は、受け入れ、渡航、クラブ内会合、広報活動などクラブアンケート結果の発表があり、午後の全体会議は、大西主催クラブ会長、FFI ブラウン会長挨拶、代表者会議報告に続いて、高齢化問題の本質、FF活動のあり方などについてFF日本として初めてパネルディスカッション形式で4人のパネラーが舞台にすわりました。他クラブやFFIの考え方、動向など、いろいろ参考になりました。懇親会は、愛知名誉顧問の出席も得、歌やダンスを含め楽しく交流しました。

翌3月1日には奈良クラブ会員の皆さん、地域ガイドさんの案内で4コースに分かれて寺社めぐりを楽しみ、同日夜は勇壮な東大寺の「お水とり」行事があり多くの参加者が見物しました。

さらに、当クラブの有志は2日、郡山クラブの網代さんの案内で、女人高野の名がある優美な室生寺を訪ね、素晴らしかったと伺っています。



全体会議が開かれた能楽堂

・特集:スロバキアのブラチスラヴァ クラブへの渡航

ED 高垣 孝



ブラチスラヴァ城から見たドナウ河とニューブリッジ

2010年5月18日～24日まで、西東京クラブ8名と山口クラブ10名で、スロバキア共和国のブラチスラヴァクラブをホームステイ渡航しました。

一行は同クラブから大歓迎を受け、市内観光、1泊地方旅行、ワイン試飲、民族音楽のショー等多くのプログラムで楽しみました。旧共産主義時代の名残りが随所に見られたが、比較的質素な生活の中にも、豊かさを感じられる1週間でした。

各家庭のライフスタイル、料理、習慣等については、個々の渡航者に執筆していただきました。私はブラチスラヴァクラブの紹介・印象について述べます。

クラブ創立:1990年1月(今年で20周年)、チェコスロバキア時代に設立。

会員数:約40名(ここ数年ほとんど変動なし)

会長:Martin Sebesta

元砲丸投げ選手、ダンス、音楽が趣味で、歌がプロ級。

会員の範囲:スロバキア全土対象だが、実際にはブラチスラヴァ市内がメインで、Pezinok という20km程の郊外の町の会員も10名ほど居る。

会員の職業:銀行家、旅行代理店経営、医者、教師、研究者等、夫婦共、比較的知的職業に就いている会員が多く、それなりに裕福である。また離婚暦のある方、未亡人も何人かいる。

クラブの活動:年1回の渡航、受け入れの他、月1回のクラブミーティング、FF欧州内の交換、欧州大会参加、会長のMartinさんは毎年世界大会に参加している等、活発な印象を受けた。1995年にFFIからThe Best Club of the Yearを受賞。

問題点:・会員が固定化している。テリトリが国全体に広がらない。

・公共のバス、電車もあるが、Ambassadorの移動手段はホストの車に限られている。

全体的なクラブ及びスロヴァキアの印象:

- ・会長、ED中心によくまとまっている。
- ・困ったときに、親切に助けてくれる。
特に私は土産物屋に置き忘れた財布が、そのまま戻ってきたのには、驚きと大感謝でした。
- ・Ambassadorの扱いに慣れている。
- ・ほぼ予定通りのスケジュールで進行し、EDのJuraj Chrenkaさん中心に、よく計画が練られている。

ということで、渡航参加者の皆様も大変満足されたようで、山口クラブも西東京クラブも、渡航シートの評価は、ほとんど6(最もよい)でした。大変やりがいのあるED渡航体験をさせていただき、あらためて両クラブの皆様のご支援に厚く御礼申し上げます。



ブラチスラヴァ城内で西東京クラブ、山口クラブ全員集合

・スロバキアの歴史と文化



竹田威彦/敏子

今回スロバキア渡航に参加し、その歴史に直に触れることができました。スロバキア共和国は1993年、チェコから分かれた国との知識しかありませんでした。しかし渡航によって、この国の魅力を知ることができました。この国は5つの国(オーストリア、ハンガリー、ポーランド、チェコ、ウクライナ)と国境を接する中央ヨーロッパの比較的小さな国です。

国土面積 5万平方km 北海道の5分の3、スイス、デンマークとほぼ同じです。

人口 約530万人強

首都 ブラチスラヴァ



スロバキアは10世紀から1918年の間、多民族国家ハンガリー帝国の一部として上ハンガリーと呼ばれ、1536年ハンガリーの首都ブダがトルコに占領された際には首都がスロバキアのブラチスラヴァに移され、ブダに首都が戻されたのは1783年のことでした。又、上の写真のブラチスラヴァ城は18世紀マリア・テレジアの居城でもありました。

下の写真のブラチスラヴァ城の麓のマルティン教会では1563年～1830年間にハンガリー王の戴冠式が行われ、ここで即位した王は11人、女王は7人でかのマリア・テレジアも含まれます。



1918年オーストリア・ハンガリー帝国の崩壊により、チェコスロバキア共和国が建国され、1948年～1989年の共産主義時代を経て1993年チェコから分離独立してスロバキア共和国が成立、2004年EUに加入しました。

この地には昔からケルト人、ローマ人、ゲルマン人、スラブ人、ハンガリー人、ユダヤ人等様々な民族が移動、定住していましたが、現在の民族構成はスロバキア人85.6%、ハンガリー人10.8%、その他ロマ、チェコ人、ドイツ人、ルテニア人(ウクライナの少数民族)等です。

諸民族が互いに影響しあい独自の、さらに豊かな文化がスロバキアに形成されているのだと実感しました。

・スロバキア一泊地方旅行

加藤幸子／虫明陽子

5月20日、一泊旅行です。私達を乗せたバスは一面緑の丘陵地帯の中をニトラ目指して走りました。

絵本に出てくるような可愛い村を幾つも通り越し、中央ヨーロッパで最も古い教会のある、下の写真のニトラ城へ。司祭様自らの説明をツアーコンダクターのユーライさん親子が通訳して下さいました。



バスがポジニックのスパに着いたのは夕方。水着に着替え、足がやっと届く温泉プールへ。プールサイドは胡桃、榆、桐の大木が茂り、なんと気持ちの良いこと。レストランで夕食を済ませ今夜の宿へ。暗い廊下に電球が1ヶ所。それも10秒間で消える。その間に部屋の鍵を開けねば。このあたりにヨーロッパの徹底した儉約振りが伺えます。

翌朝、赤毛の女主人(下の写真参照)の用意した朝食をゆっくり楽しみ、再びバスで小さな村の小さなガラス工房『バラスカベラ』へ。たった1軒の最も古いスタイルの手作り工房でした。

見るもの聞くもの全て珍しく、印象に残る、楽しく素晴らしい旅でした。

ユーライさん親子の名アテンドに感謝、感謝です！



ELITEX ペンションの朝食

・スロバキアの家庭生活

稲垣朋子／高市孝子

共和国の色彩が残る雄大な自然に囲まれ美しいドナウ河を懐に抱いた質実剛健な国。

私達の為に提供して下さい、マーチンさんご夫婦の寝室は綺麗にリフォームされていたが、古いアパートの為か、バスタブ無しの簡易シャワーには少々驚いた。大きな身体のマーチンさんにはとても窮屈そう。

電気、水等は節約に徹するが、芸術、音楽、アート等、心豊かにしてくれるものには、惜しみなく注ぎ込む。マーチンさんの息子さん夫婦のお宅(アパート) 妹さん夫婦の豪華な大使館街に構える豪邸、郊外のお兄さんのサマーハウスへの突然の訪問にもかかわらず、気負うことなく快く迎えて下さる温かな国民性に感動。

家庭料理 ワイン チーズは常に食卓に。手作りスモークチーズ(市場で購入)は絶品！



1) ビエラ夫人の手料理 パスタと牛肉の煮込み



2) 妹さんの手料理 ポテトとチキンのソテー

ポテトの皮は赤茶色で細長く、日本のとは少し異なり、野菜類は自然の甘味が生きていて、パプリカ、トマト、キャベツの甘さが際立っていた。

Sona Polonkova さんの邸宅には昔懐かしい足踏みミシン、絵画、大きな壺、食器等が綺麗に飾られ、亡き夫を偲びながら仕事をこなすキャリアウーマンでした。手際よく朝食の片付けを終えてから ドレスアップして登場、息子さん一家を訪問しました。建築家の息子さんが建てた新居は春の日射しが注ぐシンプルで清潔感のある住居でした。蝶々の羽を付けて出迎えてくれたお孫ちゃんの可愛かった事。住いに刺激を受けた楽しい旅でした。



ホストの Sona Polonkova さんと



ホストの Marta&Ludo Kubicar さん宅で

【現地物価情報】

現地スーパーのチラシによる物価の例は、

- 牛肉:4.89 ユーロ(約 580 円)/kg
- 豚肉:2.85 ユーロ(約 340 円)/kg
- 鶏肉:1.50 ユーロ(約 180 円)/kg
- ソーセージ:0.5 ユーロ(約 60 円)/100g
- 牛乳:0.60 ユーロ(約 72 円)/1L
- カマンベールチーズ:5.75 ユーロ(約 690 円)/kg
- オレンジ:0.62 ユーロ(約 75 円)/kg
- トマト:1.5 ユーロ(約 180 円)/kg

と、かなり安いですが、逆に高い例は

- ガソリン代:1.30 ユーロ(約 156 円)/L

・ウェルカムパーティでの余興

ED:高垣 孝

今回西東京クラブは、先方のウェルカムパーティの余興として、下瀬太郎さんの指導で、「ふるさと」、「花」、「見上げてごらん夜の星を」の日本の歌と、「おお牧場はみどり」のスロバキア民謡の合唱を披露しました。下瀬さんの好指導による数回の練習によって、合唱レベルが上がったばかりでなく、渡航への気運が盛り上がったのが、大きな成果だったと思います。



右端の赤いハッピーの下瀬さんご自身も独唱披露して、満場の喝采を浴びました。若い下瀬さんの精力的な活躍は、今回の渡航のまさに一服の清涼剤のような、清々しさを感じました。また山口クラブも「福笑い」、「南蛮踊り」などを披露し、パーティを盛り上げていただき、ありがとうございました。

一方、ブラチスラヴァクラブはパーティとは別に、下の写真のPezinokのCultural Hallで、スロバキア民族音楽の素晴らしい合唱を、披露していただきました。



編集後記

5月末にスロバキア渡航から帰国後、バタバタしていましたが、ようやく会報(ニューズレター)の編集を終え、今年の一回目の会報発行にこぎつけました。ご多忙中、原稿、写真を提供して下さいました皆様方に、厚く御礼申し上げます。 広報担当:高垣 孝

西東京クラブ・ニューズコーナー

・FF 西東京クラブ・今後の活動予定

【2010年】

- ・7月24日:関東ブロック会議(東京クラブ主催)
- ・9月28日:町田市市内見学ツアー
- ・10月16~18日:FFI世界大会(ワシントン DC)
- ・10月23~29日:エストニア、タリクラブ受け
連絡先:ED 虫明陽子さん
Tel:042-795-5466、
Email: yoko-mushiaki-8lynx@nifty.com

【2011年】

- ・4月8日~:ニューカレドニア、ヌーメアクラブ渡航
連絡先:ED 石井嗣代さん
Tel:044-852-5231
Email:tsuguyo-ishii@w8.dion.ne.jp
- ・2011年受け入れ:東ワシントンクラブ
EDは今村佐知子さんに決定。
時期は未定ですが、今後の全体クラブミーティング等で決まる予定。

・全体クラブミーティングのお知らせ

従来、毎月役員会を開いていましたが、会員同士の情報交換を密にし、相互の親睦関係を深めようという主旨で、役員会の後に全会員を対象にした、クラブミーティング(仮称)を開くことにしました(自由参加)。

次回は7月16日(金)午後2時半から、つくし野センターで行います。ここで、今後の受け入れ、渡航計画、各種イベント等の詳細が話し合われますので、ご都合のつく方は、ご参加の程をよろしく願います。

尚、詳細は事務局からの案内をご参照下さい。

編集発行:ザ・フレンドシップフォース・西東京

発行責任者:東京都世田谷区上馬 2-37-12-701

榎川 善一

Tel & Fax : 03-3419-3018

e-mail : w-tokyo@friendshipforce.jp